

授業科目名・形態	介護の基本Ⅲ	講義	必修・選択の別	選択	
担当者氏名	工藤 久・石岡和志	開講期	1年後期	単位数	2

【授業の主題】

「尊厳の保持」「自立支援」という新しい介護の考え方を理解するとともに、「介護を必要とする人」を生活の観点から捉える。また、介護における安全やチームケア等について理解することを目的とする。これらを踏まえ、本講義では、「介護の基本」として、ICF利用と介護とリハビリテーションの関係について学習する。リハビリテーションの目的は人間らしく生活できるよう支援することであり、その「全人間的復権」についても深く考察する。

【到達目標】

- 1) 「自立に向けた介護」の視点から、各分野のリハビリテーションおよび介護予防について理解する。
- 2) 障害のある人・高齢者におけるリハビリテーションの意義について理解する。
- 3) ICFの構造を把握し、施設・病院および在宅における生活機能の向上について理解する。

【授業計画・内容】

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 ICFの考え方
- 第3回 介護におけるICFのとらえ方
- 第4回 リハビリテーションの考え方
- 第5回 リハビリテーションの実際 ①医学的リハビリテーションの理論と実際
- 第6回 ハビリテーションの実際 ②職業的リハビリテーションの理論と実際
- 第7回 ハビリテーションの実際 ③教育的リハビリテーションの理論と実際
- 第8回 ハビリテーションの実際 ④社会的リハビリテーションの理論と実際
- 第9回 病院におけるリハビリテーション
- 第10回 施設におけるリハビリテーション
- 第11回 在宅におけるリハビリテーション
- 第12回 介護予防とリハビリテーション ①高齢者リハビリとしての介護予防プログラム
- 第13回 介護予防とリハビリテーション ②介護予防の実際例
- 第14回 リハビリテーション専門職と連携
- 第15回 自立と社会環境整備（福祉用具・福祉機器の活用）

【授業実施方法】

講義形式で行う。

【授業準備】

教科書を事前に確認し、わからない語句などは専門書や辞典などで調べておくこと。

【主な関連する科目】

社会福祉概論、高齢者福祉論、障害者福祉論、認知症ケア論、日常生活支援技術

【教科書等】

新・介護福祉士養成講座 介護の基本Ⅰ（第3版）中央法規出版（株）

【参考文献】

- ・障害者福祉研究会，編：ICF 国際生活機能分類－国際障害分類改訂版－，中央法規出版

【成績評価方法】

筆記試験 60%、小テスト 30%、平常点 10%により総合的に評価する。

【学生へのメッセージ】

介護とICF、リハビリテーションとの関係を理解してください。予習復習も欠かさずに行ってください。